



中札内高等養護学校幕別分校の特徴について紹介します！

産業総合科

幕別分校では、十勝の企業、施設と連携した作業、地域の資源を生かした作業を行っています。あらゆる職域、職種に対応する基礎的、基本的な知識、技能、態度を身に付けます。

高校生活の3年間で、清掃作業・環境美化作業・農作業・縫工作業・木工作業・図書館作業・カレンダー・袋詰め作業・記念品製作作業など、様々な作業に取り組みます。



「環境美化作業」
幕別町施設の花壇整備



「縫工作業」
鎖袋の製作



「図書館作業」
トートバックにプリント

ICTを活用した授業

幕別分校では、1人1台タブレット端末環境を整備し、デジタル教材を活用した授業を実施しています。

授業では、テレビやプロジェクターを使ってホワイトボードに教材を映し出し、視覚的にも情報を提示しています。外国語では「翻訳アプリ」、作業学習では「メモアプリ」、総合や美術では「グラフィックデザインアプリ」など活用しています。その他にも動画作りやポスター作りなども行っています。文字や言葉だけではなくイラスト、動画など情報を加えることで、生徒が楽しく、わかりやすく学べる環境を整えています。また、地域の方々や連携先の会社、近隣の高校との交流授業では「ビデオアプリ」を活用して遠隔での交流やビデオ会議を実施しています。日常生活では、デジタル掲示板を設置し、学校全体で授業や作業学習などの情報を共有しています。

幕別分校の取り組みの一つに、日々の学習活動や行事の様子をホームページやX(旧Twitter)を通じて積極的に発信しています。授業での取り組みや行事の様子、生徒達たちの笑顔の発信は、学校と家庭、地域を繋ぐ大切な架け橋となっています。



校内に設置している
「デジタル掲示板」



デジタル教材を活用しての
話し合い活動



生徒たちが共同作成したポスター

「高校卒業後の生活について」

特別支援学校の高等部を卒業した後、生徒たちはそれぞれの希望に応じて多様な進路へと歩み出します。進路は大きく分けて「一般就労」「福祉的就労」などに分かれ、社会参加や自立に向けた第一歩になります。卒業後の生活では、働くことに加えて、地域で安心して暮らし続けるために福祉制度や支援サービスの利用も重要になります。

今回は、特別支援学校卒業後の主な就労先や生活の場について、ご紹介します。

○就労（働く）

・一般就労

企業と雇用契約を結び、働く形態です。障害者雇用枠で雇用のケースが多いです。

・福祉的就労

【就労継続支援A型】

就労継続支援事業所で、軽作業、飲食店やカフェでの調理補助、農作業、清掃、事務補助など、支援を受けながら働く形態です。事業所と雇用契約を結び、最低賃金が保障され支払われます。

【就労継続支援B型】

就労継続支援事業所で、軽作業やリサイクル作業、手芸品作り、パンやクッキーの製造・販売など、支援を受けながら作業をする形態です。日中活動としても利用します。

事業所との雇用契約を結ばないが、工費（作業報酬）が支払われます。最低賃金の保障はありません。

○訓練校・福祉サービス利用

・職業訓練校（国立障害者職業能力開発校、はまなす食品株式会社能力開発センター）

生活能力の維持・向上のための支援を受け、将来の就労に備えます。

・生活介護事業所

日中の生活支援が中心の施設で、重度の障害や医療的ケアを必要としている方、就労が困難な方が、機能訓練（リハビリ、ストレッチなど）や余暇活動をして過ごします。

○生活の場

・実家

家族で暮らしながら、日中活動へ向かいます。訪問支援や通所サービスを利用するケースも多いです。

・グループホーム

スタッフの支援を受けながら他の利用者と共同生活をします。家事や金銭管理、生活リズムの維持など、日常生活の基本的なスキルを身に付ける環境の中で少しずつ自立度を高めていくことができます。

・一人暮らし

アパートやマンションの部屋を借り、自分で家賃や光熱費などを支払いながら生活を送ります。

卒業後の生活は本人の希望や能力に合わせて多様な選択肢があり、地域の支援機関や行政サービスと連携しながら安心して過ごせるようサポートが行われています。

十勝特別支援教育推進ネットワーク協議会「とかねっと」

【目的】

- ①管内の特別支援学校それぞれの専門性や関係機関の情報を共有すること。
- ②教育機関・福祉・医療・労働の様々な機関との連携を図り、特別支援教育の理解・啓発を図ること。
- ③定期的な研修を通して、特別支援教育の力量向上を図ること。

※一人で悩んだり学校だけで抱えずに、いつでもお気軽にご相談ください♪



詳細は北海道帯広養護学校 HP をご覧ください